

ごあいさつ	1	代表チームのキャンプ実施	36
RWC 2019 日本大会 概要	2	代表チーム到着 歓迎レセプション トレーニング 公開練習 チームウェルカムセレモニー 小学校訪問 北九州市出発	
RWCとは RWC 2019 日本大会について			
ウェールズの紹介	4	RWC 期間中の市民の応援	40
ウェールズという国について ラグビーウェールズ代表について		RWC 2019 でのウェールズの活躍 バスリックビューイングと応援バスツアー	
キャンプ地誘致のあゆみ	6	大会期間中の様々な交流	42
RWC 日本開催決定後の動向 試合会場・キャンプ地の誘致検討を表明 開催都市(試合会場)選定プロセスへの意思表示 誘致に向けた官民連携体制の構築 試合会場誘致・キャンプ地誘致に関する方針 キャンプ地誘致活動の本格化 英国とのネットワーク構築、誘致対象へ キーパーソンの来訪 ウェールズを対象とした事前キャンプの誘致活動 ウェールズの事前キャンプ誘致決定 公認キャンプ地の誘致活動 ウェールズの公認キャンプ地にも決定		ウェールズ首席大臣等の本市訪問 ロイヤル・ハービストの本市訪問 ウェールズドーム	
推進体制	19	メディア・SNSでの発信等	44
WRUとの市民交流の推進	20	情報発信の取組み 感謝の広告交換 バスリシティ効果 経済波及効果	
WRUとの事前協議 スレ交流の実施(2018年1月) 第1回ラグビーウェールズ交流プログラム 第2回ラグビーウェールズ交流プログラム 第3回ラグビーウェールズ交流プログラム		ウェールズキャンプのレガシー	46
ウェールズとの事前協議 スレ交流の実施(2018年1月) 第1回ラグビーウェールズ交流プログラム 第2回ラグビーウェールズ交流プログラム 第3回ラグビーウェールズ交流プログラム		KitaQ フェス in Tokyo ウェールズ訪問・レガシー協定の締結 教材用冊子で紹介 市民アンケート WRUからの応援メッセージ	
キャンプ実施までの様々な交流	30	トピックス	49
カーディフ大学と北九州市立大学の交換留学・インターンシップ 本市とウェールズの小学校間における交流等 ウェールズの高校生ラグビーチームによる北九州市訪問 ウェールズ政府日本代表事務所との交流		北九州スタジアム(ミクニワールドスタジアム北九州) 代表チームに最適なトレーニング環境を提供 他の大会やキャンプ	
キャンプ実施に向けた機運醸成	32	年表	52
都市装飾 ウェールズ国歌等の合唱でおもてなし その他の取組み			



北九州市長
北橋 健治

北九州市では、「スポーツによるまちの活性化」を政策に掲げ、国際スポーツ大会やキャンプ地の誘致に取り組んでいます。ラグビーワールドカップ2019では、本市でのウェールズ代表チームのキャンプが実現しました。

キャンプの誘致にあたっては、産学官で構成する「北九州市大規模国際大会等誘致委員会」をプラットフォームに、日本一利便性の高いミクニワールドスタジアム北九州を中核施設として活動を展開しました。北九州ラグビーフットボール協会、北九州商工会議所、北九州青年会議所や市議会など、オール北九州の活動が功を奏し、世界的な強豪チームの誘致に成功しました。

キャンプが決定してからは、最高のトレーニング環境の提供のほかに、2年にわたる市民交流プログラムの推進、ウェールズ国歌合唱等でのおもてなし準備、小倉駅を中心とした徹底した都市装飾などを展開し、市民の応援機運の醸成に努めました。

その結果、着実に応援ムードが高まり、代表チームの公開練習では、スタジアム初となる満員の観客がウェールズ国歌を大合唱して代表チームを歓迎するなど、キャンプは大きな盛り上がりを見せました。

キャンプや市民交流プログラムを通じて、スポーツ振興、国際交流が推進されました。本市の取組みが連日のように国内外のメディアやSNSで紹介され、本市のイメージアップやシビックプライドの醸成に大きく寄与しました。

キャンプの誘致段階からご尽力いただいた本市のラグビー関係者、経済界、市議会、また交流プログラムのスポンサー、各学校、熱い声援を送ってくれた市民の皆様など、キャンプに関わった全ての方々に深く感謝申し上げます。

またキャンプを契機に、ウェールズラグビー協会、代表チーム、政府等と交流を重ねてまいりました。ラグビー交流を成功モデルとして、経済、文化、青少年育成といった分野にも交流の輪を広げ、友好を深めていきたいと考えています。